

第5学年〇組 外国語活動 学習指導案

平成30年10月5日（金）第3校時

〇〇市立〇〇小学校5年〇組

授業者：教諭 山中 藍

ALT

1. 単元名

What do you have on Monday?

2. 題材について

（1）教材観

児童はこれまでの学習を通して、英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しんできたとともに、日本と世界との様々な習慣や文化に興味や関心を広げてきた。本単元ではさらに世界への興味や関心を広げるために、身近な話題として世界の小学校で学習されている教科を取り上げる。その際、教科書や時間割を活用しながら活動を進める。

本単元の最後には、一人一人が作った時間割をグループで発表させる。発表は児童が考えた夢の時間割を教科名だけ言うのではなく、なぜそのような時間割を作ったのか簡潔な英語で説明させ、根拠を示すことの大切さにも気づかせたい。

（2）児童観

（省略）

（3）指導観

外国語活動において、単元に設定されている表現を使用させる場合には、児童が聞く・話す必然性がある場面設定をすることが大切である。そうすることで、児童が言葉でコミュニケーションを図る楽しさを感じながら、さらに聞いてみたい、話してみたいという思いをもつようになる。コミュニケーションでは、相手が何を伝えたいのかを聞こうとする態度、相手に自分の考えが伝わるように話そうとする態度が大切である。そこで本単元では以下のような活動を行う。夢の時間割作りの中で、自分の好きな教科だけを使い時間割を作り、友達の時間割を聞き合う活動を行うことで、興味関心をもって取り組むことができる。そして、教科について英語表現を使って尋ねたり答えたりすることで、会話のやりとりを楽しませることができる。

単元の第1, 2時の活動は、主に教科や曜日の英語表現や音声に慣れ親しむ活動を多く取り入れたインプット重視の視点で行う。まずは、聞いて分かることをねらい、ICTを活用しながら、視覚的に意味が分かりやすい環境を作り、ミッシングゲームやチャンツでたくさんの英単語を聞かせ曜日や教科の単語をインプットさせていく。さらに外国の授業の様子をデジタル教材で紹介し、日本の小学校と外国の小学校の違いに気づかせる。第3時では、音声で英語表現に慣れ親しませながら、夢の時間割を作る活動を行う。さらに、友達と交流をし、自分の夢の時間割を紹介する。第4時では、教科や曜日を含んだ尋ねる英語表現を取り入れて慣れ親しませた後、作成した夢の時間割を尋ねたり答えたりする活動を行う。また、振り返りカードを活用し、振り返りの視点を示し、活動への取り組みを自分で理解できるようにする。英語を聞こうとする態度、話そうとする態度、会話を続けて楽しもうとする態度、発音や言

業への気づき等を振り返らせ次時につなげていく。自分の取り組み方を認識することにより、積極的なコミュニケーションができるように意欲を高め、教科や曜日の表現に慣れ親しませていくことができるようにする。

3. 単元の目標

- ・時間割作りをする活動を通して、自分たちが作った夢の時間割を、相手に分かりやすく紹介する。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・時間割について尋ねたり答えたりする表現を使って、友達同士でやりとりする。
(外国語への慣れ親しみ)
- ・世界の小学校の学校生活に興味をもち、日本と外国の小学校で学習する教科の違いや共通点を知り、多様なものの考え方があることに気づく。
(言語や文化に関する気づき)

4. 単元の評価規準

- ・自分が作った時間割について相手に分かりやすいように発表している。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・時間割についての表現や尋ね方の表現を聞いたり言ったりしている。
(外国語への慣れ親しみ)
- ・日本と世界の小学校の学校生活の共通点や相違点に気づいている。
(言語や文化に関する気づき)

5. 単元の指導計画（本時3／4）

時	目標(◆)と主な活動(【 】、○)【 】=誌面化されている活動	◎評価<方法>
1	◆外国の学校生活や時間割を知る。 ○Small Talk 【Alphabet Jingle】 文字を言いながらフォニックスに慣れ親しむ。 【Let's Sing】 Sunday ,Monday,Tuesday 曜日の言い方に慣れ親しむ。 【Let's Listen】 話を聞いて時間割を選び、番号を書く。 【Let's Watch and Think】 外国の小学生4人の話を聞いて教科名だけを聞き取り、AFTのやりとりで確認する。	◎世界の学校の学校生活や時間割について聞いたり書いたりすることができる。<行動観察>
2	◆曜日と教科に慣れ親しむ。 【Alphabet Jingle】 文字を言いながらフォニックスに慣れ親しむ。 【Let's Sing】 Sunday,Monday,Tuesday 曜日の言い方に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 What do you have on Monday?リズムに合わせる。 教科名の言い方に慣れ親しむ。	

	【Let's Watch and Think】 5カ国の小学校のビデオを見て AFT とのやりとりを通して教科を確認する。 【Activity】 教科を聞き取り先生と友達の時間割を AFT とのやりとりで確認する。	◎自分の好きな時間割を作り、友達に紹介することができる。 ＜行動観察＞
3	◆曜日や教科の表現を使って、時間割について伝え合う。	
	【Alphabet Jingle】 アルファベットを言いながらフォニックスに慣れ親しむ。 ○Small Talk 今日の時間割の中で好きな教科について発表する。 【Let's Sing】 Sunday,Monday,Tuesday 曜日の言い方に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 What do you have on Monday? リズムに合わせて今日の表現を練習する。 ○Game ゲームを通して教科の言い方に慣れ親しむ。 ○Activity Handout Dream Schedule Interviews プリントを用意する。 時間割を作って友達に聞いたり尋ねたりする。	◎I have 教科 on Monday.などの表現を使って友達と交流することができる。＜行動観察＞
4	◆オリジナルの時間割を作り発表したり、スペシャル時間割クイズをしたりする。	
	【Alphabet Jingle】 アルファベットを言いながらフォニックスに慣れ親しむ。 ○Activity Handout Dream Schedule Interviews 友達と夢の時間割を作る。(正規の時間割にない教科も入れても良い) ○Activity Handout Our Dream Schedule 時間割を作って友達に聞いた り尋ねたりする。	◎I have 教科 on Monday.などの表現を使って友達と交流することができる。＜行動観察＞

6. 本時の学習

- (1) 目標 曜日や教科の表現を使って、時間割について伝え合おう
- (2) 準備 教師用絵カード(教科) 児童テキスト We Can! 1 デジタル教材 We Can! 1
ワークシート My Dream Schedule 児童用絵カード(教科・曜日) 振り返りカード
ワークシートを拡大した物

(3) 本時の展開 (3 / 4)

時間	児童(S)の活動【】=誌面化されている活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価＜方法＞	準備
5 分	○あいさつをする。 S : Let's start the English class. 【Let's Sing】 P20 Sunday,Monday,Tuesday を歌う。 【Alphabet Jingle】 【Jingle Game】	・全体にあいさつをする。 HRT : Hello everyone. How are you? ALT : What day is it today ? ALT : Let's sing Sunday,Monday,Tuesday Stand up. ・一緒に歌う。 HRT : Stand up ・Jingle で学んだ音と教科の頭文字の音が つながるように確認する。	デジ タ ル 教 材 We Can ! 1 曜 日 カ ー ド
6 分	○スモールトーク 話題：好きな教科（教科・理由） ○ねらいの確認をする。 曜日や教科の表現を使って、時間 割について伝え合おう	ALT : What subjects do you like? HRT : I like music. I like singing songs. Do you like music? ALT : Yes, I do. I like music too. And I like P.E. too. I like basketball. Do you like music? (児童に何人か聞 く。) S : Yes,I do. ALT : Oh,you like music./ I like music, too. ・学級担任はねらいの確認をする。	

10分	○復習をする。 【Let's Chant】 What do you have on Monday? I have～. クラスの時間割を使って教科数、教科名を発表する。 S : I have English, P.E., math, Japanese, and science. HRT や AFT が言った時間割通りにカードを並べる。 ○I have 教科. の言い方を練習する。	HRT : Let's Chant. ALT : Stand up. HRT : Let's review. ALT : How many lessons do we have today? What do you have on Friday? HRT : I have math, music, P.E., Japanese and English. ALT : Let's check it the answer. S : I have 教科. ※2回目は教科名を少し早口で言う。 ※3回目以降は教科数を増やしていく。	教科カード
23分	○Activity Dream Schedule Interviews ・自分が作った時間割を友達と尋ねたり答えたりする。 S: I have 教科 on 曜日. 振り返りカードを書く。	・ワークシートを配る。 ※拡大版のワークシートを黒板に2枚貼る。 ・例示用の時間割を出し、ALT とモデルを示す。 ALT : What do you have on Monday? HRT : I have math, music, P.E., Japanese, and English. ・交代して2回モデルを見せ、「I have 教科 on 曜日。」の言い方を繰り返し聞かせる。 ・好きな曜日を選ばせる。その曜日の1時間目から6時間目まで全ての枠にカードを置かせる。 ◎「I have 教科 on 曜日。」の表現を使って友達とやり取りをすることができる。 <行動観察> HRT : Please write furikaeri card. You did a good job.	ワークシート 拡大版ワークシート
1分	あいさつをする。	・終わりのあいさつをし、授業を終える。 HRT : That's all for today's English class. Goodbye everyone. See you.	